# 南串中だより

今や五月とは言え、真夏日が当たり前になってきました。一昔前は六月が衣替えで、そこから半袖シャツだったのですが、**体育大会**から暑さに拍車がかかってまいりました。そんな中でも、南中生たちは暑さに負けず元気に学校生活を過ごしています。私たち教職員も負けじとがんばらねばと思う今日この頃です。**南串中だより第四号**は体育大会特集号です。お楽しみに!!

## 感動そして完全燃焼の体育大会

五月十七日（日）、雲ひとつない青空のもと、令和八年度の本校**体育大会**が開催されました。体育大会まで残り一週間となった五月十一日（月）から、とてもいい天気が続き、練習も予定どおり順調に進み、本番を迎えることができました。本校教職員もいつもより早く出勤して本番を迎えました。そして**感動したことその①**教職員だけでなく、生徒たちもいつもより早く登校し、**自然と体育大会の準備を始めていた**ことです。私はいつもの体育大会にかける意気込みが伝わってきました。

さあ、いよいよ競技の始まりです。予想以上に気温も上がり、熱中症の心配もありましたが、南中生たちはその暑さにも負けず、ご覧になられた方は、おわかりと思いますが、誰も手を抜くことなく競技をやり抜きました。そして**感動したことその③二〇〇M走**や一〇〇M走の時、スタートした瞬間から、**自然と南中生たちの応援する声が聞こえてきた**ことです。友だちに素直にエールを送れることは、とてもすばらしいことです。そして、**長縄跳び**では、南中生たちの工夫が多く見られました。こっそり仕込んでいた**先生たちからの挑戦状**では、南中生たちからのあたたかい声援と笑顔に癒されました。ちょっと練習不足でしたので、来年こそはリベンジです。また、**三年生の保護者の皆さんからの挑戦状**は、さらに体育大会を盛り上げるものとなりました。とてもありがたかったです。来年は、**一・二年生の保護者の皆様も挑戦されてみてはいかがでしょうか?**期待しております。

前半の部が終わり、後半は**赤白対抗全員リレー・腕力自慢!・みんなで引っ張れー!・チャンス走・四〇〇Mリレー**と続き、とおり、校門付近で生徒たちを出迎えていたので、気づかなかったのですが、今回の体育大会の主担当である**鍬取修二先生**から聞きました。鍬取先生もそのことに、**この一年間での成長をとても感じて、涙が出そうだったとのことでした。すごいぞ!!南中生!!**

さて、私にとっては久しぶりの体育大会でした。開会式のあいさつから南中生たちと教職員が一つになってほしかったので、一緒に声を上げました。南中生たちも恥ずかしがらずに一緒に声を上げてもらって**幸せ**でした。また、**感動したことその②生徒会長の松山維**さんのあいさつ、保体給食委員長の**井上蒼介**さんの選手宣誓には、その間も、南中生だけではなく、保護者・ご来賓の皆様の温かい声援を受け、南中生たちはがんばり抜くことができました。

そして、本校体育大会の競技のフィナーレを飾る**南中大団円**。この南中大団円は**感動したことその④**です。赤組、白組の応援から始まり、その後の大団円。圧巻でした。約十分間の演技でしたが、見応えがあり、伝統を受け継いだ決意が南中生全員の表情にあらわれていました。練習の時から、三年生が中心となって、下級生を指導し、予行練習の時より、大きな声も出て、完成度が上がっていました。本部席付近で見ていた私も、思わず鳥肌がでるくらいでした。大団円が終わってからの拍手は、見ている人たちからの心からの感動の拍手でした。

閉会式での永江和浩教頭先生の講評にもあったように、この**三年間で**

開会式での気合入れ。みんな協力してくれてありがとう!!

赤組
競技の部　優勝　おめでとう!!

白組
団結の部　優勝　おめでとう!!

その間も、南中生だけではなく、保護者・ご来賓の皆様の温かい声援を受け、南中生たちはがんばり抜くことができました。

そして、本校体育大会の競技のフィナーレを飾る**南中大団円**。この南中大団円は**感動したことその④**です。赤組、白組の応援から始まり、その後の大団円。圧巻でした。約十分間の演技でしたが、見応えがあり、伝統を受け継いだ決意が南中生全員の表情にあらわれていました。練習の時から、三年生が中心となって、下級生を指導し、予行練習の時より、大きな声も出て、完成度が上がっていました。本部席付近で見ていた私も、思わず鳥肌がでるくらいでした。大団円が終わってからの拍手は、見ている人たちからの心からの感動の拍手でした。

閉会式での永江和浩教頭先生の講評に

圧巻!!
伝統の南中大団円

## 一年生キャンドルケース作り

五月二十五日（月）一年生の総合的な学習の時間で、**雲仙普賢岳噴火災害追悼行事「第二十回　いのりの灯」キャンドルケース作り**を行いました。雲仙岳災害記念館主催で行われる事業の一つで、本校では四年目の取組となります。火砕流による犠牲者を出した、平成三年六月三日を風化させないため、例年島原半島の多くの小・中学校に協力依頼があっている事業でもあります。はじめに雲仙岳災害記念館館長の**杉本伸一様**からの当時の話を中心に講話をいただき、その後体育館下の駐車場でのキャンドルケース作りを行いました。私は校務の都合でキャンドルケース作りの様子はうかがえなかったのですが、担任の先生からは、親子でやるのもおもしろいかも・・・という意見がありました。

地元で起きた大きな災害は、先々まで受け継いで、教訓にしたいものですね。

**一番良かった・・・**という言葉がありました。実際は比べることは出来ませんが、私はその言葉には南中生に**立派に伝統を引き継ぐことができましたね・・・**というメッセージが込められていたと思います。最後に生徒会副会長の増田元就さんのあいさつの冒頭に「お疲れさまでした」という言葉に「お疲れさまでした」と自然に返すことができる南中生、後片付けもお疲れにもかかわらず、お手伝いいただいた保護者の皆様・・・**感動したことその⑤**です。他にもたくさん書きたいことがあるのですが、何かの機会にお話しできればと思っています。

とにかく私たち教職員ひょっとしたら保護者・ご家族・ご来賓の皆様も大**感動**、そして南中生たちは**完全燃焼**できた体育大会になったのではと手前味噌かもしれませんが、思った**幸せ**な一日でした。

この**体育大会での学びを南中生たちには、中学校生活にいかしてほしい**と切に願っています。

## あとがき

〇ずいぶん気温が上がってきております。お子様自身が体調管理できますよう、学校でも指導しますが、**ご家庭でも、ご指導の方お願いいたします。**

〇体育大会には、多くの皆様に足を運んでいただき、感謝申し上げます。久しぶりに体育大会を目の当たりにして、**やっぱり学校っていいな**と思いました。これからも機会があれば、**たくさん学校に足を運んでください。**

本校ＨＰのＱＲコードになります。

３年ぶりに学校給食を食べています。１食あたり３５０円。この値段で給食をいただけるのはありがたいことです。

令和８年５月２９日（金）現在　生徒数　７２名（男子３１名、女子４１名）世帯数　６３世帯